

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(平成30年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
小川町	水道事業	—	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	地方独立行政法 人への移行	
		○			○		

抜本的な改革の取組状況

取組事項		(水道事業)広域化等					
実施済		(実施類型)		(取組の概要)		(実施(予定)時期)	
		事業統合	施設の 共同設置			平成	
		施設管理の 共同化	管理の一体化			年	月
実施予定							
検討中	○	(取組の概要)		(検討状況・課題)			
		埼玉県水道整備基本構想(埼玉県水道ビジョン)に基づく水道広域化を、1市6町1村で検討を進めている。		料金システムの共同化、施設の再構築等について検討しているが、各構成団体の足並みを揃えることは難しく、具体的な計画やスケジュールは未定である。			

取組事項		民間活用(PPP/PFI方式の活用)					
実施済		(取組の概要)		(方式)		(導入・契約(予定)時期)	
				BTO方式	公共施設等 運営権方式 (コンセッ ション方式)	平成	
				BOT方式		年	月
実施予定				BOO方式	その他		
				DB方式			
検討中	○	(取組の概要)		DBO方式		(検討状況・課題)	
		老朽化に伴う浄水施設の更新及び浄水の運営管理について、PFIの導入が可能か否か、導入可能性簡易判定の実施を検討している。		検討中のPFIは「浄水」の部分であるが、取水・導水・配給水との関係性が高いため、民間と事業者(町)との十分な連携が取れるかが不安材料である。			